



令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果

本年4月に6年生を対象に実施された「令和6年度全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から公表されました。この調査は、児童の学力と学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。

本校では、調査結果の分析から、国語では「書くこと」の領域に弱みが見られ、算数では「変化と関係」の領域に課題があることがわかってきました。今後は国語において、文章の内容を要約したり、自分の考えを簡潔にまとめる場を設定したりして「書く力」を育てていきたいと考えています。算数では、伴って変わる2つの数量について、グラフを読み取り、算数用語や式などを使って、自分の言葉で表現する場面を学年に応じて設定していくことで弱みを克服していきたいと考えています。今回の調査では、国語では「話すこと・聞くこと」、算数では「図形」の領域で問題の正答率が高いなどの成果もありました。この結果の分析をもとに、成果や課題を学校・家庭・地域で共有し、取組をさらに充実させていきたいと思ひます。

【教科に関する調査の結果】

平均正答率	国語	算数
本校 (全国との差)	(-)	(-)
全国	67.7	63.4

各教科の平均正答率は、国語・算数とも全国平均を下回っています。領域別にみると、国語では「話すこと・聞くこと」、算数では「図形」の平均正答率が高い傾向にあります。しかし、両教科とも記述して解答する問題の無回答率が高くなっています。問題の内容を早く正確に理解して書く力の育成が必要です。

【各教科のできているところ(○)と できていないところ(●)】

国語

○文法を問う、主語を選択する問題で正答率が高い。

問題番号3一(本校の正答率 75.6%)〈概要〉文中の述語の主語として適切なものを選択する。

●漢字の書き取りが弱い。

問題番号2三ア(本校の正答率 17.1%)〈概要〉「きょうぎ(競技)」を漢字を使って書き直す。

●与えられた情報を基にして伝えたい内容を書くことに課題がある。

問題番号2二(2)(本校の正答率 48.8%)〈概要〉空欄に入る内容を、取材メモを基にして書く。

〈今後の学校としての取組〉

- 文章の意味に即した漢字の書き取りができるように指導する。
- メモやグラフなど与えられた情報の中の重要な語に印をつける練習を重ねることで、話の内容を捉えて書き表す力を育成する。

算数

○「図形」領域で正答率が高い。

問題番号3(1) (本校の正答率 95.1%) 〈概要〉作成途中の直方体の見取り図で正しい辺を選択する。

●グラフを読み取り、数値の違いの意味を自分の言葉で表現する力に課題がある。

問題番号5(3) (本校の正答率 34.1%) 〈概要〉折れ線グラフから、開花日の月について違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月と4月の違いについて書く。

●伴って変化する2つの数量の関係を捉える力が弱い。

問題番号4(4) (本校の正答率 41.5%) 〈概要〉家から図書館までの自転車の速さを求める。

《今後の学校としての取組》

- ・表やグラフから、条件に合う数を読み取り、データを活用する力をつける。
- ・考えた課程を文章で表す活動を低学年から段階的に取り入れていく。説明のひな形を示し、そのひな形を使って自分で説明させる。
- ・日常的に算数用語を用いるようにする。

【児童質問紙より】

児童質問紙は、児童の生活や学習の様子をアンケート形式で問う調査のことです。

以下に、本校の結果で特徴的な項目を取り上げます。

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。)	1時間以上	本校 58.1	全国 54.6	+3.5
--	-------	------------	------------	------

土曜日や日曜日など学校の休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。)	1時間以上	53.6	48.6	+5.0
---	-------	------	------	------

人が困っているときは、進んで助けていますか。	当てはまる	55.8	46.0	+9.8
------------------------	-------	------	------	------

《家庭・地域のみなさんと連携して、子どもの「学びと育ち」を支えるために》

生活習慣の確立と学びの土台づくりのために、以下の取組をお願いします。

- ・規則正しい生活リズムを身に付けさせる。
十分な睡眠時間の確保、朝食の摂取、栄養バランスの取れた食事をする。
- ・家庭で学習や読書をする習慣を定着させる。
子どもが立てた「本日の学習メニュー」の中身を聞く。
身近なところに本がある環境を整える。
- ・自己肯定感を高める。
いろいろな人とかわり、たくさんほめてもらう機会をつくる。